

【背景・目的】

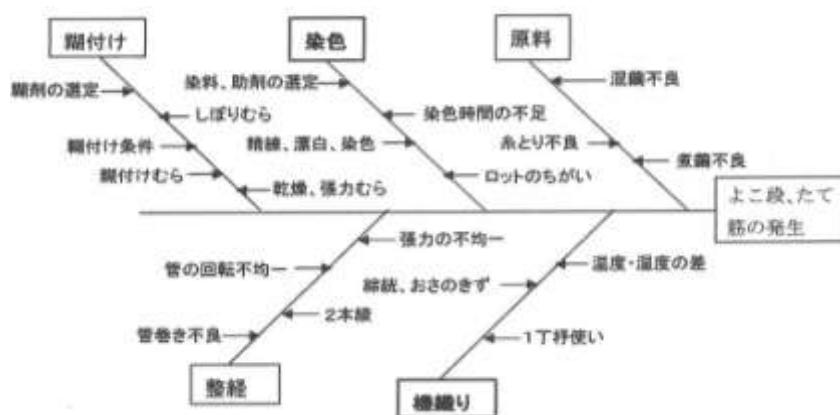
たて筋・よこ段は様々な要因が重なりあって発生するといわれている。特に本場結城紬は原料生産工程から機織工程まで分業制手作業による生産であり、しかも経験と勘に頼る部分も大きいことから、発生原因を特定し完全に防ぐことは難しい。

そこで本研究では、これまで生産者が経験と勘によって管理してきたたて筋・よこ段について、問題製品を再現するための試織を実施し、発生原因の実証を行ってきた。

本年度については、特にたて筋発生に関する検証を実施した。

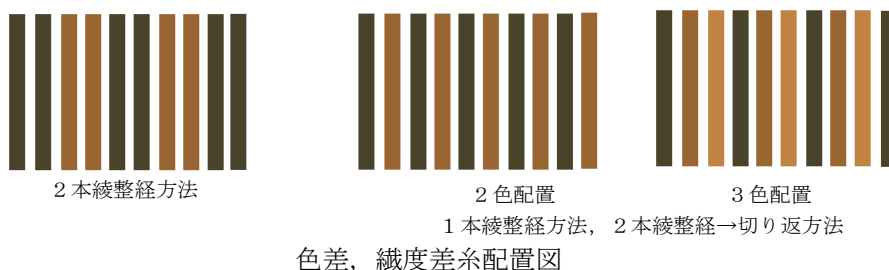
【試験内容・方法】

○本場結城紬のたて筋・よこ段の発生につながる主要因



○問題発生状況の基準サンプルの作製

たて筋発生要因の一つである各工程で生じる糸の色差が織物に与える影響について、たて糸整経時の色差、織度差糸の配置違い及び整経方法による織物サンプルを作製し、測色及び目視により発生状況の検証を行った。



- ・産地内で通常行われている2本綾による整経では、同色同織度のたて糸が2本ずつ配置されるため、たて筋が発生しやすい。
- ・色相によって異なるが、色差値 (ΔE^*ab) 3.5 以上の色差糸でたて筋が顕著に発生した。
- ・1本綾整経では同色同織度のたて糸が1本ずつの配置となるため、2本綾整経よりも色差値は半分程度に軽減することが可能であることが確認できた。

【今後の計画】

本場結城紬生産者を対象とした技術講習会等開催によって、産地織物の品質向上の支援を実施していく予定である。

基礎となった事業

平成 21 年度 試験研究指導費（標準）
テーマ名「結城紬のたて筋・よこ段発生原因の検証」

担当部門

紬技術部門

主任 中野 睦子
主任 本庄 恵美

tel : 0296-33-4154